



はじめに

近年、「Office365」は「Microsoft365」 に命名変更され、そのフレームワーク内の1機能である「SharePoint Online」 は、 従来の「クラシックUI」に「モダンUI」が追加され、これを デフォルトUI とするサイトも従来の「クラシックサイト」 に「モダンサイト」が 追加されました。

同時期、「Skype For Business」に代わる「Teams」の追加、「Edge」が「Chrome Edge」に変更され、従来のブラウザーのデ フォルト推奨であった「IE11」は「Chrome Edge」に代わり、2022年6月には「IE11」は廃止になる模様です。

また、従来の「Microsoft Flow」なども「Power Automate」命名変更され、従来の「InfoPath」の代替えとなる「PowerApps」も追加され「Powerシリーズ」に統一されたました。

それに伴い、従来の「SharePoint2010ワークフロー」も廃止されました。

このように「モダン」が追加され、関連機能は大幅に変更されている現在、「検索」機能も クラシック と モダン の両方の検索エクスペリエンス 形式となっています。

「SharePoint Online」の検索処理のキーワード入力の検索BOXは、従来、ヘッダー上部右側に配置されていたましたが、最上段の中央に変更され、「Edge」や「Chrome Edge」でのサイト閲覧でも順次、表示位置の改修変更が対応されてはいますが、完全に代わっていないのが現状です。

ヘッダーに配置されていた検索BOXで、キーワードを入力し検索を実行すると、検索センターに遷移され検索結果が表示されますが、 その画面レイアウトも従来とは異なっています。

検索結果は、従来と同じ本文やファイル内記述の内容迄検索されていますし、細かな改善はされているようです。





検索機能

- Microsoft 365 での SharePoint の概要は以下のMSDNを参照してください。 ⇒ https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepoint/introduction
- この連携されている「検索」関連は、以下のURLで御確認ください。
- ●「SharePoint」の検索エクスペリエンス
- $\Rightarrow https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepoint/get-started-with-modern-search-experience$
- ●「SharePoint」の検索の概要
- $\Rightarrow https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepoint/overview-of-search$
- ●「SharePoint」検索管理の概要

 $\Rightarrow https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepoint/manage-search-the-admin-center$

従来の「クラシックUI」の最終版は、色々な不具合も改善され使える機能になっていましたが、発展途上にある「モダン」関連の 「Microsoft Search は SharePointモダンな検索エクスペリエンス」であり、使いこなされていないと推測されいないため、評価結果 は公開されていません。

この「モダン」化の改修は現在も進行中であり、稀に今迄動いていた「クラシック」へのデグレも発生しているため、「モダン」化対応が全域に対応され、安定するのは数年は掛かると推測されます。

⇒ 「SharePointを学ぼう_17.MS回答2_サブサイト作成エラーの問合と回答.pptx」

「SharePoint Online」の状態を監視・確認しながら、「モダン」機能を活用されていく事をお勧めします。





検索事例紹介

検索BOXは上段中央のサイト内検索でキーワードに該当する資料を検索し、検索センターでその検索結果が一覧表示されます。 但し、クラシック版とは異なり、モダンな検索エクスペリエンス」での表示なため、検索センター画面での絞込み条件が「ファイルの種類」と 「最終更新日」の2つしか無く、再検索のためのキーワード入力フィールドがないなど、機能面で弱いレイアウトになってしまっています。

ユーザー要望として、キーワード「例:"マニュアル"」が文中にある場合や列を追加し事例として、エンタープライズキーワード列(メタで管理された列)を追加した事例をご紹介します。

